



## 未来を買うすなわち税を納める

高野町立高野山中学校 三年 別所 龍慈

『税』と聞くとみなさんはどんなことを考えますか。物を買ったときに納める「消費税」、住んでいると納める「住民税」などを想像する人が多いのではないのでしょうか。今の日本ではあらゆるものに税がかかります。「所得税」というものをご存知でしょうか。給料を受け取る際に、納める税です。この税は、所得が上がればその分、税を納めないといけません。今、何も分らない僕はそれが不平等だと感じます。所得が百万の人の一万と、十万人の一万では価値が大きく異なります。その上で、前者と後者で納める税が違つと、国に貢献している割合が変わってくると思います。言い方を悪くすれば、貢献しないといけない割合が変わるということです。僕はそれが不平等だと感じます。

その税は何に使われているのでしょうか。こんなことを聞いたり見たりしたことはありませんか。二人で高齢者一人分を支えているということ。正直僕は、何で見ず知らずの高齢者を支えないといけないんだ。ということを考えてしまいます。ですが、最近、税について考えるようになってからこう考えるようになりました。逆の立場に立てば、きっと助かるんだろうな。豊かに生きていけるんだろう。こう考えます。

その前に、老後のことを考えるのもたしかに大切です。ですが本当に大切なのは、今をたくましく、楽しく生きることではないでしょうか。また、僕たちも税によって支えられています。例えば、公立の学校なんかは、教育費や教科書などの費用が税で払われていたり、病院などで、7割が税から払われたりと思えないところで支えられています。

このように税は私たちの生活に必要な不可欠なものだと分かります。たしかに、不平等に感じたり、何か不満があったりとこれからも日本は税の問題が一つの大きな課題となるでしょう。ですが、税を納めることで私たちの生活がより豊かになることはたしかです。それは自分の未来にも関わってくることであり、税を納めることは、今の自分を支えること、未来の自分を支えることと同義だと思えます。それに国民が税を納めることで、全ての人が一つになることができると思います。「みんなで払い、みんなで支える」これがあ

るからこそ、今の日本は力強く、世界にも認められているのだと思います。これからの日本で、国が、いや日本中全ての人が協力して、よりよい社会をつくっていききたい、またそうなってほしいと思います。

最後に、僕を支えてくれる税に感謝したいです。